



シルバーありだ川

公益社団法人
有田川町シルバー人材センター

〒643-0801
和歌山県有田郡有田川町徳田14番地5
電話 0737-52-4567
FAX 0737-52-4457
URL <http://webc.sjc.ne.jp/aridagawa/>
Mail aridagawa@sjc.ne.jp

梅雨のひととき

撮影者：宮田茂明氏



会員の確保と就業体制の充実を



理事長 笹本 教導

会員の皆様には平素ご協力、ご支援を頂き、誠に有難うございます。お蔭様で会員数も四五名となりました。粗入会率は県下で一番となっており大変喜ばしい限りです。ただ高齢化等に伴い脱会者も増加しており加入者を上回る状態です。当センターと致しましては、会員紹介、役員による会員増加運動を積極的に進めてまいります。

さて請負委託契約、派遣契約各実績共に前年を上回る実績を上げる事が出来ました。会員皆様方のご協力のお蔭と感謝申し上げます。当センターでは新しい取組みとして、地域の垣根を越えて、就業場所、就業会員を町内一円に活路を広げた新しい取組みを実現した結果、目標を上回る実績を上げさせて頂きました。これも会員皆様の深いご理解をいただいた結果だと思っております。

また、農業関連作業の就業会員の減少が続いている現状を踏まえ、剪定講習会等を多く開催して地域産業の発展のためのシルバー人材センターと位置づけられるよう努めてまいりたいと思っております。

介護支援や空家対策といった今後ますます進むであろう高齢化対策にも充分対応出来るよう研修、講習会を開催して万全を期した対策にも引き続き努力していく所存です。

本年は、中長期計画策定の初年度でもあります。今後計画の検証、評価、確認を見極め、見直しを含めさらなる目標を見定めて、高齢者の健康で生きがいのある生活の実現と、地域社会への貢献という目的にむけて役員一同努めてまいりたいと考えています。

なお、最近就業中での軽微な事故が発生している現状を踏まえ、会員の技能の向上と安全意識を高めるため、交通安全・健康各教室・各種技能講習会等を開催すると共に「適正就業ガイドライン」の周知徹底をしてまいります。

終わりに会員皆様方のご協力をお願い申し上げます。ご挨拶と致します。

技能・安全・適正就業委員会からのお知らせ

有田川町シルバー人材センターの安全就業の基本目標

「傷害事故ゼロ」「賠償事故0」に努めましょう

平成30年度は、みかん摘果・庭木剪定等での人身事故が5件発生し、自損事故も数件発生しています。人身事故は就業中のうっかりミスでの事故となっています。

また、最近ニュースで報道されていますが、高齢者の交通事故が増加していますので安全を確認し運転しましょう。

仕事にかかる前に仕事の進め方を考え、この時「滑るかもしれない」「物が落ちてくるかもしれない」と危険の予知が大切です。

慣れによる感性の鈍化を防ぐとともに、私たちは皆、高齢者を自覚して自信過剰にならないように気を付けて事故防止に努めましょう。

◎病気を予防するために有田川町が実施する特定検診等を進んで受けましょう。

年 度	会員数	事故件数	保険種別		備 考
			傷害	賠償	
27年	408	3	2	1	通院2名
28年	424	3	3	0	入院1名・通院2名
29年	451	1	1	0	通院1名
30年	455	8	5	3	入院2名・通院3名

★平成30年度技能講習会の実績

講習会名	実施期間	日数	受講人員	内 容
農業支援技能講習会	平成30年8月27日～30日	4日間	10名	チェンソー、草刈機資格講習
柑橘剪定講習会	平成31年1月20日	半日	14名	みかん・八朔の剪定講習

また、熊井地区とポッポ道の草刈り作業の安全巡視活動を実施しました。

令和元年度 実施計画

- 技能・安全・適正就業委員会の委員による就業中の現地の安全巡回を随時実施します。
- 草刈機の使用法・現地にて実技講習並びにみかん・八朔・山椒等の剪定講習会を計画しています。
- ◎ 会員の希望する研修があれば事務所まで連絡してください。

講習会の内容	実施の時期【予定】	対 象 者
草刈機の使用法	令和元年6月中旬	有田川町シルバー会員を対象
柑橘等剪定講習会	令和2年1月～2月	



● 剪定講習会



● チェンソー講習会

1. 会員の推移 (平成31年3月末現在)

	H24年度末	H25年度末	H26年度末	H27年度末	H28年度末	H29年度末	H30年度末
男 性	241	229	219	234	245	260	266
女 性	145	143	149	174	179	191	189
合 計	386	372	368	408	424	451	455

2. 受託事業月別実績

月 別	受託件数	契約金額(千円)
4月	121	6,388
5月	147	5,959
6月	139	6,418
7月	154	7,218
8月	154	7,087
9月	147	6,859
10月	191	7,422
11月	148	6,909
12月	115	6,148
1月	112	5,979
2月	119	7,435
3月	101	5,832
合 計	1,648	79,654

3. 派遣事業月別実績

月 別	受託件数	契約金額(千円)
4月	12	626
5月	9	599
6月	10	664
7月	10	550
8月	11	548
9月	10	689
10月	18	1,825
11月	20	2,046
12月	19	1,841
1月	14	942
2月	15	950
3月	17	985
合 計	165	12,265

4. 受託事業の推移 (平成30年度)

(単位: 件・千円)

年 度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
件 数	1,592	1,540	1,491	1,548	1,533	1,648
金 額	84,200	80,950	81,610	75,950	72,543	79,654
公 共	金 額	30,960	30,282	30,209	24,117	24,275
	比 率	36.8	37.4	37.0	31.7	30.5
民 間	金 額	53,240	50,668	51,401	51,833	55,380
	比 率	63.2	62.6	63.0	68.3	69.5
就業実人員	265	255	274	279	293	291
就 業 率	72.2	69.7	67.2	65.8	65.0	64.0

家事支援委員会からお知らせ

シルバー人材センターでは、平成29年12月から、要支援1・2及び基本チェックリストにより認定を受けた高齢者宅を訪問して、町の包括支援センターが作成した支援サービス計画を基に、掃除、洗濯、調理、買い物などのサービスを行っています。

サービス利用者数は、平成30年4月は4人(訪問回数13回)でしたが、今年3月には8人(訪問回数35回)と徐々に増えており、その主なサービス内容は掃除となっています。

この事業は、町の包括支援センターからの依頼により実施するもので、シルバー人材センターが独自に事業を拡大して実施できないようになってます。それだけに地域包括支援センターから依頼があった場合、100%受託できれば最善ですが、現状は困難な状況です。特に会員から利用者宅まで遠隔であったり、また、サービス計画に調理がある場合には、殆ど対応できておらず大きな問題となっています。

課題解決のためには、就業会員の確保と地域包括支援センターとの連携が最善の方策と考えています。

高齢者の方々が住み慣れた地域を離れずに安心して生活ができる地域社会の推進のため、会員各位の一層のご理解とご協力をお願い致します。



就業開拓委員会からお知らせ

平成30年度においては、理事・委員により町内事業者や個人発注者を訪問し、発注のお願いをし、また県・町や民間企業の情報収集を図り、就業機会の開拓・確保に努めてまいりました。

今年度も昨年同様、9月頃就業開拓キャンペーンを実施し、各企業を訪問し、また各イベント等にも積極的に参加すると共に、就業の発掘に努めて参りますので、会員の皆様方の情報もお寄せください。

また、昨年度よりサポート事業推進員を新たに配置することにより派遣、請負の開拓と拡大に取り組み、空き家管理、耕作放棄地の管理等、積極的に取り組みます。

また、町の委託事業として、放課後児童健全育成事業(学童保育)にも取り組んでいますので、会員の皆様も支援員として活躍していただくようお願い致します。



学童委員会だより

シルバー人材センターが運営する学童保育は、「かなや(鳥屋城小学校横)」と「つばさ(吉原・第3保育所横)」があります。

現在の学童利用児童数は、57名。

学童保育では、日常の活動に加え、春と秋の遠足やクリスマス会、お別れ会など折々の取り組みを行っています。

支援員(会員)からは、「子供らに元気をもらおうよ」「孫が遠くに住んでいるので滅多にあえないけど、孫と遊んでいるみたいやよ」などの声が聞かれます。

子供たちと交り合う中で、褒めることや叱ることもありますが、私たち大人が学ぶことが多々あります。

現在、会員の支援員は15名(女14・男1名)と少ない状況にあり、支援員を募集しています。

保護者の方々の応援団になればと、じっちゃん・ばっちゃん達が頑張っているところです。

「いっぺん話を聞いてみて」「体験も…」と思われる方は事務局までお問い合わせください。



支援員を募集しています。子供さんが好きな方、男性、女性を問いません。

総務委員会活動について

総務委員会では、会員が「安全で安心して就労」ができるよう、他の委員会とも連携を図りながら運営に努めています。

しかし、当管内ではここ数年の人口減少傾向と、高齢化比率の増加の影響で農業分野の後継者不足や、農業支援従事者の人手不足が大きな問題となっています。このため当センターでは、農業関連に従事できる会員の確保と、技能講習会等を通じて、会員の育成に取り組むことが重要課題と考えています。

また、高齢者比率増加の中で、訪問型サービスについての生活支援事業にも取り組んでいますが、より一層の事業拡大に努めて行きたいと思っております。

今後については、第2次中長期に基づき会員の拡大に取り組むと共に、地域のニーズに幅広く応えるため、各委員会や関係機関とも連携を図り、地域に根ざしたセンターを目指します。

総務委員会では、シルバー人材センターの健全な運営に活かすための皆様からの幅広いご意見をお待ちしています。

健康が第一

金屋地区 玉置 京子

私は退職してすぐシルバー人材センターに入会しました。最初の仕事はプラスチックの工場が開設したので、その時より選別の仕事に行かしてもらい、今に至っています。

入会の動機は、家で農業をしているだけでなく、初めて会う皆さんとお話ししたり、交流の場を広げたいと考え入会しました。

入会して14年になりますが、その間に夏の庭の草引き等はとても暑く、汗だくになり、又泥だらけになりながら従事し、しんどい事もありましたが、終わった後とてもきれいになったと喜んでもらうと、暑かった事も忘れるくらいに嬉しく思った事を思い出します。



今は農業の合間に、趣味で家の周りに花植えをしたりして楽しんでいます。最近体力が落ちてきたのを感じますが、体を動かす事が一番大事なので、もう少し仕事をさせてもらい、頑張っていきたいと思っています。

これからもよろしくお祈りします。

支え合い!

吉備地区 平松 道子

私は、今一人暮らしの方の買い物やゴミ出しなどのお手伝いを、させていただいています。買い物は、一つ一つ賞味期限の長い物、美味しそうなのを探して買っています。

買って来た物を見て喜んでくれた時、一番嬉しく思います。

お話しをするときは、楽しんでいただける様にと心がけています。

これからも喜んでいただけるよう、日々楽しくがんばって行きたいと思っています。



友達が一番

清水地区 森 桂子

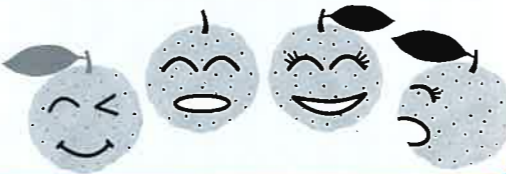
シルバーでもう6年ほど、ユズの皮むきの仕事をさせてもらっています。11~12月の25日間ほど、元・湖畔の家(二川ダムそば)で女友達4人がクルマ座になって、4つ切りしたユズの皮をひたすらむく仕事です。

皮を七味とかに使うそうで、実は捨てます。果汁でべとべとになるので、雨ガッパ着てゴム手袋して... けっこうきつい仕事ですが、友達とおしゃべりしながらなので、いろいろ楽しいですよ。手を休めず、口もしっかり動いています。

しょうもないことやけど、息できんほど笑うこともあります。

大きな声で笑うのは、この仕事があるときだけかも。

やっぱり、友達があることが一番です。



ご指導、ご協力を!

金屋地区 村山 一也

私は、地元のJA職員として長期に渡ってお世話になりましたが、無事に退職し農作業に励んでいます。このたび先輩から、シルバー人材センターに入会しないかと勧められ、入会する事になりました。

これからは先輩会員の皆様方に、ご指導及びご協力をいただき、お客様に好印象を与えられるよう頑張りたいと思っています。

新しい仲間もでき、大変喜んでます。

先輩会員の皆様、未熟な私をご指導していただきますようお願いいたします。

「趣味は歴史探訪です。」体力の続く限りシルバー会員として勤めていきたいと思っています。



会員の広場 就業体験記等

演歌大好き

清水地区 松本 てるよ

写真は、ン10年前、同窓会(八幡中楠本分校28年卒)で唄っている私です。どう? かわいいでしょう。孫が小さいとき、テレビに映っている八代亜紀を見て「おばあちゃんがテレビに出てる」と言いました。八代亜紀にちょっと似ているのは、孫のおすみつきなんですよ、ホホ。



演歌が大好きで、地区の敬老会や公民館のバス旅行では、張り切って唄っています。シルバーでは、正月前に温室の中で、ミツバの出荷作業をさせていただきました。高齢者の体操教室にも出席し、元気でごはんもおいしく、まだまだ頑張ります。

元気で働く

吉備地区 三木 城江

私は、有田に来て37年になります。家はみかんを少し作っていたので、教えてもらいながら摘果やみかん採りと、畑に行っていました。

子供は3人です。主人は勤めていたのですが、途中で会社を辞めて運送の仕事を始めました。今では息子が後を継いでくれ、従業員も増え、みなさん頑張ってくれています。

私達家族は二世帯で、二階に長男夫婦が住んでくれています。孫は三人で、男の子二人は野球をやっています。次男は吉原に住んでいて、女の子が二人です。去年は、長男と三男に長女が生まれ、三男は家を建てる事が出来ました。

今年は二人の初節句になります。女の子の孫は可愛いです。

シルバーに入会して色々な仕事をしながら、元気で孫の成長を見ていきたいと思っています。

初就業の喜び

吉備地区 林 和彦

平成29年3月末に、38年間つとめさせていただいた役場を定年退職しました。役場先輩の方からのお誘いもあり、シルバー人材センターに入会して2年になります。シルバー人材センター事務局からの依頼もあり、総務委員にもなっております。

最初の1年間は、シルバーでの仕事は、自己都合もあり全くゼロで幽霊会員でした。2年目に入り、シルバーの事務局の方から、みかん採りの人手が足りないで行ってもらえないかと声をかけて頂きました。

みかん採りなら子供の頃から経験がありましたので、何日間か行かせていただきました。農家の方にも喜んで頂き、充実した日を送れたことは感謝の気持ちしかありません。

シルバー人材センター事務局の皆様、本当に有りがとうございました。

仕事を楽しんで

金屋地区 南 幸夫

定年退職後も何か仕事をしたいと思っていたのですが、親の介護などもありフルタイムの仕事は難しい状況でした。そんな中、あるシルバー会員の方からシルバーでは短時間の仕事も色々あるよなどのアドバイスをいただきました。元々好奇心旺盛とまではいなくても、ある程度はある方で、仕事をしてみたいタイプでもあり、今は福祉施設での送迎運転手やスーパー店員、はたまた温泉掃除など、色々やらせてもらっています。どれも今まで経験した事のないものばかりで楽しく、そして好奇心をみかせてくれています。



今もシルバー役員の皆さんや、事務局の方は次々と新しい仕事を開拓されているようで、これからも自分の時間と体力の許す限り、楽しませていただこうと思っています。



バトミントンで汗流す 新田武正(清水地区)



とにかく何でもやってみたい方で、若いころは野球、バレー、ゴルフ等、また夏は川でアユ釣り、秋はマツタケ、シメジ、コウタケ狩りへと行っていました。ところが夏は山椒収穫と重なり川へは全く行けなくなり、山は松も枯れてきて行くところも殆どなくなってきました。

そんな中で、若いころから続けているのがスポーツです。特にバトミントンは、20代後半から週に2日、仲間たちとやっています。スポーツで流す汗は気持ちのいいもので、そのあと飲むビールも格別です。バトミントンを始めたころは、ハードなスポーツなのでいつまで続くかと思いましたが、50、60を超え65歳の今もポチポチやっています。これから先、70歳を目標に体力の続く限り頑張っていこうと思っています。

手話と出会って 藤田みゆき(金屋地区)



手話サークルに通っていた友達から誘ってもらい、参加したのが20歳の時でした。

「手話ってどんなの」とドキドキして参加したのが今でも忘れられません。休みながら少し通いました。結婚して子育て中は忙しくて、手話のことはすっかり忘れていました。

ダウン症の息子が、小学生になっても言葉が出ないので手話を取り入れてもらいました。

私も手話を忘れていたので、鳥屋城公民館の手話サークルに入れてもらいましたが、上の子供たちが高校生になり、送迎などで忙しくなり行けなくなりました。子供たちも成長し、50歳の時に有田振興局の手話講座に参加させてもらい、今年で10年目です。

今年は手話検定一級に挑戦します。手話で息子も成長できましたので、少しでも手話が広まるお手伝いが出来ればと思って今も勉強を続けています。

山椒と唐辛子 山田修郊(清水地区)



「69歳か!」退職し早や15年が過ぎた。その間8年土木作業に従事、フクフクするような経験もさせて頂いていましたが、肺機能低下で断念しました。

昨年初めて山椒の剪定にチャレンジ、今年も先輩の技を盗み学ぼうと挑戦した。「難しいな!」芽を見て切ることが解っても、切り捨てる枝で迷って遅くなる。「悔しい!」先輩の木はスッキリ! その上剪定が早い!

早く近づきたい。何よりも昭和の山椒採り娘達の喜ぶ顔を見たいものだ。

また、唐辛子栽培をするも標準の七割弱の出来だった。今年は2年目、面積も増やし、九割超えを目標に燃えています。

農業に興味のなかった自分には、試行錯誤の繰り返しですが、大きな山椒の房と、真紅の唐辛子が実る夢に浸りながらの晩酌は、最高! 何はともあれ健康第一、ぼちぼちやるわ、今後ともよろしく。

私は現場主義 前 生己(金屋地区)



先日、70歳の誕生日を迎えました。今のところ体調は良好です。シルバーの仕事は何が来てても受けるつもりで備えています。

草刈、家具整理、不用品処理、庭木剪定、石垣積み、消毒等何でも一応は挑戦しています。最近感じたことは、作業より話をしたいからシルバーに頼んだという人が多くなったと思う。一人で畑を耕す気になれない。シルバーから人が来ると頑張れると思います。

健康で長生きするためには、体力と気力のバランスが取れないと難しいと思います。現場に行かないとその雰囲気はわからない。話が目的の人には世界の中にはこんな人や、こんな考えの人もいるという私の経験談を話します。

ブラジルに移住して、首都のブラジリアで野菜を売っていた日系人のおばちゃんの話や、ペルーのクスコの写真屋さんの話などです。皆苦勞して今を築きあげています。

今からでも間に合う。気力と体力が武器です。

地域ブランドに挑戦 細 勲男(金屋地区)



日頃は、JAより地域ブランド「有田ミカン」の認定を受けみかん作りに頑張っています。

シルバー人材センターには入会させてもらって20年余り、みかん作りの合間に他の会員さんと就業して気分転換し、また昨年草刈機及びチェンソー取扱い講習を受講し、早速実践に生かすことが出来ました。

昨年は草刈機及びチェンソー取扱い講習を受講し、早速実践に生かすことが出来ました。

昨年の台風襲来による果樹の倒木で意気消沈、ほとんどの木は修復不能と判明し、早速去年の講習知識を発揮し、年の割には知識、技能は最先端であり、手持ちのチェンソーで30本程の被害樹も、たちまち伐採を完了しました。

春先の、みかん苗木の新入園生の迎え入れ準備も整い、新入園生にはブランド「有田ミカン」の再生に期待を込めて、一人前まで3、4年待つことに。

技能知識の習得は、何歳になっても役立つことを実感し、今日も「有田みかん」作りに挑戦しています。

絵手紙でお手伝い 森本さち子(吉備地区)



趣味として短歌や川柳、絵手紙をし、夏は布ぞうりを作り日々楽しんでいます。学童保育でお世話になり今年で八年目になります。

絵手紙は、公民館で月一回参加させてもらい、その日に描いた作品は郵便局に展示してもらっています。

短歌は自己流なので、上手にはなれません。新聞に投稿して入選作は、絵を描いて一昨年始めたインスタグラムに毎日アップしています。その他年に何回か社会福祉センターでデイサービスを受けている方々に、絵手紙を描くお手伝いに行かせて頂いて10年たちました。私達を待ってくださる方々がいると思い、少しでもお役に立てて、うれしく思います。

昨年は、源氏物語、有田川かるた、禅の言葉を描きましたが、今年は、希望の言葉、語形力がつく言葉を描いて、今年のどんな祭りや郵便局で展示して戴こうと思っています。

野菜作りを楽しむ 山崎一幸(吉備地区)



野菜づくりを始めて13年が経ちました。まったく初めてで、たい肥や化成や本を見ても意味がわからず、そんな時に教えてくれたのが近所の先輩でした。

畝づくりから種まき、苗の植え方まで、手取り足取りで教わった事が懐かしいです。畝は夏は低く、冬場は高くとか今でも実践しています。

野菜づくりは、季節ごとに育てるのが楽しみですが、又食べるのも楽しみです。

健康が最高 友石 隆(吉備地区)



シルバー人材センターの会員として、吉備健康保健福祉センターの、トレーニングルームでお世話になり2年目になります。

トレーニングルームでは週1、2回マネージメントに努めています。尚、津本先生に教えて頂いた事をきっちり守って事故のない様に管理しています。

トレーニングに来て頂いた方々には、楽しく気分よくトレーニングして頂いて帰って頂くように努めています。健康が一番宝です。皆様方もトレーニングに参加してみませんか。

私もトレーニングに参加させて頂いて健康になりました。道路でのマラソンは、今はしていませんが、近いうちに走ってみるつもりです。

詩吟も今はしていませんが、発声練習は毎日のようにしております。声を出すということは良いことで、健康に良いと思います。

少子高齢化が進む中、シルバー人材センターに入会させて頂いて、本当に有り難く思っています。少しでも地域社会に貢献できるように、清く正しく美しい精神で、頑張っていくようにしています。

今後とも、ご指導、ご鞭撻の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

夏はオクラとモロヘイヤで、めかぶと「マ」と鯉節をたっぷり混ぜ、梅干しの果肉で味付けをします。ご飯やお豆腐などにかけて食べます。

夏バテ防止に欠かせない一品です。

年を取ることに、気づくよりも腰に堪えますが、楽しんで続けることが、健康につながると思いますので、身体が動く限り頑張りたいと思っています。

シルバー同好会だより



平成23年度よりスタートした「シルバー同好会」は、早や9年目を迎えました。趣味を生かし、健康と生きがいと仲間づくりを目的として、会員相互の親睦を図りながら、活動を行っています。

同好会には、グランドゴルフ・ゴルフ・手芸・カラオケ・野菜づくりと5部門が活動しています。活動状況は、下記「実績」の通りです。なお、平成23年度スタートから平成30年度末までの活動実績は、延べ1,732人の参加となっています。

しばらく休部していたゴルフ部が、平成29年度より活動を再開しています。同好会を通じて、知らない仲間が、共通の趣味を生かして交流の輪が広がるものです。入会されていない会員さんには、今後積極的に入会され活動して頂きたいと思ひます。

平成30年度活動実績

部	部員数	活動状況	参加人数
グランドゴルフ部	49	6/18、9/11 (第14、15回理事長杯)	延べ48名
ゴルフ部	33	9/20、10/24	延べ24名
手芸部	16	毎月2回(第2・4火曜)シルバー会議室	延べ140名
カラオケ部	31	5/19、9/15、2/15(鳥屋城公民館)	延べ14名
野菜づくり部	14	3/4、(町産業課主催の講習会に参加)	14名
計	143名		延べ240名

“趣味を生かして楽しませんか”

カラオケ部 部員：31名で活動中

鳥屋城公民館で今年も3回実施したよ。歌って楽しく活動してます！部員募集中ですよ～。

手芸部 部員：16名で活動中

毎月2回 第2・第4の火曜日に活動してます！

グランドゴルフ部

部員：49名で活動中

ゴルフ部 部員：33名で活動中

体動かして歩いて…とても楽しい雰囲気です！

野菜づくり部 部員：14名で活動中

楽しく活動してます！野菜づくり部と一緒にリフレッシュ！

会員相互の親睦を図る意味でも、同好会活動は不可欠です。趣味を通じて仲間づくりをしませんか？

各部で入部をお待ちしています！ 窓口：シルバー事務所 (52-4567)

ボランティア活動ガンバリました

『健康福祉まつり』に参加
平成30年5月20日(日)
シルバーのPRをしました！



『あじさいまつり』(金屋石垣地区) 参加
平成30年6月10日(日)
今年もあじさいが見事に咲いていました。有意義なPRができました！



『紀州路クリーン大作戦'18』に参加
平成30年8月25日(土)
暑さ厳しい中、多くの会員の皆さんが参加してくれました。道路も大変きれいになりました。

『どんどん祭り』に参加
平成30年10月21日(日)
「シルバー人材コーナー」を設けPRを行いました。多くの人が集まり、有意義なPRができました。



『金屋文化祭』に参加
平成30年10月28日(日)
入り口Dにコーナーを設け、PRをしました。

『しみずふるさとまつり』に参加
平成30年11月18日(日)
3回目の清水ふるさとまつりへ参加し、各コーナーを回り、チラシ配布を行いPRをしました。

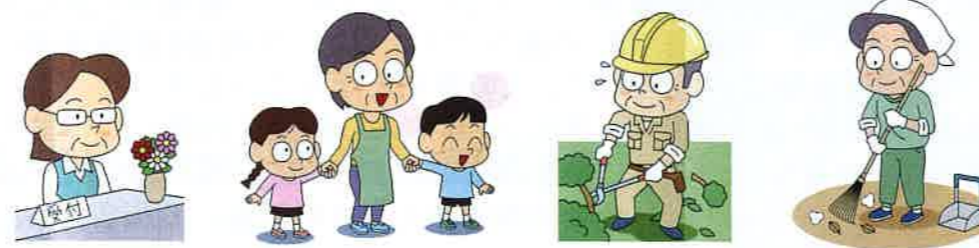


『クリーン有田川』運動に参加
平成31年2月2日(土)
町のシンボル“有田川”をきれいにと…寒い時期でしたが、頑張りました。

事務局だより

就業会員を募集しています。

有田川町の委託を受けた総合家事支援(掃除・買い物・薬の受け取り等)や事業所の清掃、店舗のレジなどの仕事に興味のある会員の方は、事務局までお申し出下さい。



皆様のご希望をお聞かせ下さい！

事務局では、会員の皆さんに電話による就業の提案をさせて頂いておりますが、なかなかうまく会員の皆さんのご希望に届いていません。

会員の皆さんから希望する仕事の要望をお待ちしていますので、「こんな仕事がないか」・「こんな仕事なら出来るよ」といった声かけをお寄せいただければ会員皆様のご希望に添った仕事の開拓や、提案に取り組んでいけると考えております。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

新規入会希望の方を紹介して下さい。

1会員1人紹介運動実施中！

ご家族、ご近所、お友達等、お知り合いの方でシルバー人材センターに興味をお持ちの方がおられましたら、是非、ご紹介をお願いします。

ご紹介をくださった会員様には、粗品の進呈をさせていただきます。



◆ 編集後記 ◆

広報委員会

第13号“シルバーありだ川”発行につきましては、皆様のご協力有難うございました。会員の皆様に、掲載記事の原稿をお願いした所、快くご承諾いただきましたことを厚く御礼申し上げます。

今回も、おかげ様で発行にこぎつける事ができました。今後とも頑張っていきたいと思っておりますので、充実した広報誌の作成に当たり、新たな記事及びご意見がありましたら、ご連絡を頂きますようお願いいたします。